

2019年9月号

洋平コーチのピカイチ

7月26日～28日まで群馬県伊勢崎市で行われた関東MTMに山梨県トレセンスタッフとして参加してきました。

Routeからも6名の選手が参加しました。

河野だん(ヴァンフォーレ甲府)津田はるく(ヴァンフォーレ甲府)三澤ゆうし(ヴァンフォーレ甲府)小林せな(中道セレソン)塩沢すい(石和SSS)新田ひいろ(ファンタジスタFC)

1日4試合、3日間で計12試合を行い、1勝1分10敗と打ちのめされてきました。

3日間を振り返ってみて他県と比べても課題は明確でした。

1番は個人技術の低さ。特に止める(コントロール)においては意図した所に止められないので、ボールをすぐに失ってしまい常に守備に追われて体力を消耗してしまい、やっとボールを奪っても止められないのでまた守備と、悪いサイクルに入っていました。

でも周りを観る事が出来ていれば多少コントロール技術が低くても状況は変わるはずなのです。

しかし観て自分の状況判断も出来ていない人が多く出場してれば当然そのチームは苦しくなり勝つことは難しくなります。

しっかりと観て状況判断が出来、意図した所にコントロール出来なければ、どんなにドリブルが上手い選手でもそのドリブルを発揮することが出来ないのです。

Routeではドリブルには注視してトレーニングを行っていますが、この観るという点にも更に意識をさせて行きたいと思います。

最後になりますが、やはり気持ちもサッカーにおいてとても重要な事です。

1勝しか出来なかったのは何がなんでもやってやる!!絶対にこのチーム、自分のマークした相手になんか負けたくない!!という強い気持ちが見られませんでした。悔しがってるのはコーチ達ばかりで、コーチ達がいくら熱くコーチングしても肝心の本人にその思いがなければ勝負には勝つことなんか出来るはずがないんです。

また、関東MTMには山梨県トレセンは2チーム参加しましたが、実際は更に上のグループがあり、今回は2番手、3番手グループが行ってきたという事になります。

その中で、自分をアピールして上のグループへ食い込んで行くぞ!!と感じられる選手も極僅かでした。

技術とメンタルを持ち合わせた1流選手を目指してこれからも頑張っ
て行こう!



各校のスケジュールやお知らせはWebサイトを御覧ください <http://www.route-school.com>



2019年8月31日刊行

次号は9月下旬の発行を予定しています。